



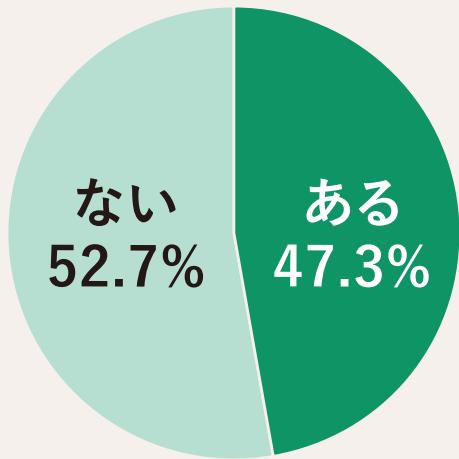
2人に1人が
「失敗した」

外構工事の失敗事例と
その対策方法

目次

1.	外構工事は2人に1人が失敗しています	01
2.	外構工事を失敗する理由	02
	事前の調査不足	02
	ライフスタイルのイメージ不足	03
	業者選定	04
3.	まずは外構工事で失敗しやすい工事と対策をしよう	05
4.	外構工事を失敗しないための対策方法まとめ	06
	駐車場関連工事の失敗事例とその対策方法	06
	庭関連工事(ウッドデッキ含む)の失敗事例とその対策方法	10
	玄関前・アプローチ周辺の失敗事例とその対策方法	12
	フェンス・塀・生垣工事の失敗事例とその対策方法	14
	駐輪場の失敗事例とその対策方法	16
	サンルームの失敗事例とその対策方法	17
	業者の施工ミスからの不満も多く寄せられました	18
	住み始めてからゆっくり検討するのも手	19
	企業選びの際に意識するべき3つのポイント	20
5.	実績のある外構工事専門店を探す方法	21
6.	お客様の声	22
7.	おわりに	23

外構工事は2人に1人が失敗しています



外構工事后に失敗・不便さを感じた箇所はありますか？

※外構・エクステリアパートナーズ実施アンケートより

弊社が運営する「ソーラーパートナーズ」をご利用のお客様には、一戸建てにお住まいの方が数多くいます。

そこで、過去に登録のあった方々に外構に関するアンケートを取ったところ、217名ものお客様からご回答を頂くことができました。

そこでわかったことは、外構工事をしてから失敗を感じているユーザーがおよそ2人に1人いるということでした。正直多いですよね。

この冊子を読んで頂いているあなたは、「せっかく新築を建てるんだから失敗したくない」と思っているでしょう。



外構工事を失敗する理由

外構工事がなぜ失敗するのか?その理由を知っておけば、大きく間違えることは少なくなります。下記の3つが外構工事を失敗する大きな理由になります。

- ① 事前の調査不足
- ② ライフスタイルのイメージ不足
- ③ 業者選定

■ 事前の調査不足

「ただ知らなかっただ…」というだけでイメージと違っていたとなるケースが多いです。

- ① どれくらい費用がかかるのか知らなかっただ
- ② 同じような商品でも比較をしなかった
- ③ どのようなデメリットがあるのか知らなかっただ
- ④ 素材や材質についてまで見ておかなかっただ



外構は新築を建てる際の最後の工事のため、打ち合わせ疲れした状態から検討が始まります。そのためきちんと調べずに知識不足のまま検討を始めてしまうケースが多いです。しかし外構は家のイメージを左右するとても重要な部分です。また家具や内装と比較しても金額が大きい工事です。正しい情報や知識を伝えて、納得できる外構になるよう全力でサポートいたします。

■ ライフスタイルのイメージ不足

実際に住んでからのイメージが不足しているパターン。短期的にだけでなく、中長期のプランも考慮しておくとよいでしょう。

- ① 家族構成に変化はありそうか
- ② 本当に使い続けるのか
- ③ 「ちょっと不便そうだけど…」が失敗に繋がらないか



プロのエクステリアプランナーは設計をする際に、まずテーマを考え、そこから視線と動線を検討していきます。デザインを考えるのは楽しいですが、視線と動線をしっかり洗い出しておけば失敗は少なくなります。住んだ後の生活が想像ができない場合は、新築時には無理に盛り込みず、住んでから検討をすることも手です。



■ 業者選定

業者によってかかる費用やデザインセンスは異なります。工事が終わってから、「なんかイメージと違うな...」ということも起こりかねないので「どの業者に依頼するか」も重要です。

- ① 施工実績や評価のある業者か
- ② 複数の業者から話を聞くようにしているか
- ③ 自分の好みのデザイン提案をしているか



外構業界は出身が異なる様々な会社が参入しています。例えば造園出身、左官出身、ブロック出身など・・・そのため他の建築工事よりあなたの新築にマッチした業者を探すのがとても難しいです。あなたに合う業者と巡り合う確率を上げるためにも必ず複数社での見積もりをおすすめします。

■ 素敵なお家づくりのためにできること

お家づくりは人生の中で何度もするイベントではないからこそ、失敗したくないですよね。

だからこそ、決して人任せや流れに任せず、自分で調べ作り上げていくことが大切です。

まずは外構工事で失敗しやすい工事と対策をしよう

外構工事で失敗しやすい工事ランキング

順位	工事内容	回答数
1位	駐車場関連の工事	49件
2位	庭関連の工事(ウッドデッキ含む)	34件
3位	玄関からアプローチ周辺の工事 (門柱、門袖、ポストなど)	32件
4位	建物周りの工事(砂利敷き、物置など)	26件
5位	フェンス、堀、生垣の工事	21件
6位	駐車場(サイクルポート)関連の工事	19件
7位	サンルーム	4件
8位	その他	4件

外構工事といっても様々な工事があります。

外構・エクステリアパートナーズが独自に行った調査では、失敗しやすい工事に傾向があることがわかりました。特に、駐車場関連の工事や庭関連の工事に気を付けた方がよいことがわかります。

外構工事を失敗しないための対策方法まとめ

■ 駐車場関連工事の失敗事例とその対策方法

駐車場の工事は多くの方が失敗したと思っている工事です。失敗事例とその対策を確認していきます。

失敗しやすいポイント

- ① 駐車場スペース
- ② 玄関・リビング前の設置
- ③ 駐車場の地面

駐車場スペース



実際の声

あと少し駐車場の奥行きをとっておけば軽自動車を縦に2台とめることが出来た。

面積が小さかった。

来客が多いので、一部を車1台追加で停めれる駐車場にすればよかったです。

カーポート、ウッドデッキを最初に作っておらず後々付ける事になった為、工事が大変だった。ガス管や水道管などとの兼ね合いで…。

アドバイザーからのコメント(対策方法)



駐車場はほぼ毎日使用する場所で、狭いと大きなストレスになります。
実際に使用する車種の寸法を確認して、必要な面積を割り出した方が良いです。**車の全幅+120cm(片側のみ使用で60cm)、車の全長+80cmは確保したい**ところです。
目の前の道路幅によっても駐車のしやすさが変わります。寸法通りにロープを張り駐車のしやすさをシミュレーションしておくと間違いありません。
来客だけでなく、将来の家族の車保有数を想定して駐車スペースを確保しておくと万全です。普段使わない駐車場は舗装を砂利などにして費用を抑えることもできます。

■ 駐車場関連工事の失敗事例とその対策方法

続いて、玄関・リビング前の設置についての失敗事例とその対策を確認していきましょう。

失敗しやすいポイント

- ① 駐車場スペース
- ② 玄関・リビング前の設置
- ③ 駐車場の地面

玄関・リビング前の設置

実際の声



南道路側にカーポートを設置したため、冬至前後の日当たりが悪い。

カーポートを家の入り口近くに設置すればよかった。

アドバイザーからのコメント(対策方法)



ポリカーボネートのカーポートにすることで金属製より日当たりが良くなります。もっとも雪が多い地域では積雪に耐えうる金属製のカーポートしか設置できません。リビングの日照を遮るような場所にカーポートを設置しないように気をつけましょう。業者によっては設計ソフトを使い、日照の入り方をシミュレーションできるため、心配な場合は業者に問い合わせると良いです。

車と家までの動線を考えてカーポートの設置場所を決めましょう。

特にトランクから玄関までの動線を意識しておくと良いです。荷物の出し入れの際に便利になります。

■ 駐車場関連工事の失敗事例とその対策方法

最後に、駐車場の地面についての失敗事例とその対策を確認していきましょう。

失敗しやすいポイント

- ① 駐車場スペース
- ② 玄関・リビング前の設置
- ③ 駐車場の地面

駐車場の地面

実際の声



駐車場のコンクリートの配筋に一部連續性が無かったため、そこに亀裂ができた。

駐車場に自然石を敷いたが黒ずみがひどい。

とりあえず砂利にしたが、最初からコンクリートにしておけばよかった。

アドバイザーからのコメント(対策方法)



コンクリートの厚みや中に入れる配筋は目には見えないため手抜き工事をされる可能性があります。業者を選ぶ際にはコンクリートの厚みと施工方法を必ず聞くようにし、見積書上でも記載してもらうと安心です。

駐車場はどうしても汚れが付きやすい箇所です。カースペース用のタイルや洗いだしコンクリートなどだと比較的汚れも目立ちづらいです。

新築時に砂利敷きにしたものの、雑草が生えて大変というお問い合わせは非常に多いです。駐車場は使用頻度が高いので、新築時に予算をしっかり確保し舗装しておくことをおすすめします。

外構工事を失敗しないための対策方法まとめ

■ 庭園連工事(ウッドデッキ含む)の失敗事例とその対策方法

庭園連の工事は外構工事の中で2番目に失敗したと感じた方が多い工事です。失敗事例とその対策を確認していきます。

失敗しやすいポイント

- ① 人工芝と天然芝どちらを選択するか
- ② ウッドデッキの設置
- ③ 雑草対策

人工芝と天然芝どちらを選択するか

実際の声



人工芝がでこぼこして汚い。

安価な人工芝を選んだら、敷く前からボロボロの状態だった。

天然芝にしたが手入れがしきれないので砂利の部分をもっと広くとればよかった。

アドバイザーからのコメント(対策方法)



人工芝は敷く前の整地がとても重要です。転圧がしっかりされていないと使用しているうちにでこぼこになってしまいます。業者に頼む場合は「どのような下地調整をするのか」をしっかり確認しましょう。DIYでやる場合も下地作りは時間と手間をかけた方が良いです。

天然芝は水やり、刈り込み、目土入れ、施肥、エアレーションなど想像以上に管理が大変ですよね。弊社への相談でも「芝の管理が大変で枯れたので、コンクリートにしたい」といった問い合わせがよくあります。**メンテナンスに自信がない方は人工芝を勧めます。**

■ 庭園連工事(ウッドデッキ含む)の失敗事例とその対策方法

続いて、ウッドデッキの設置についての失敗事例とその対策を確認していきましょう。

失敗しやすいポイント

- ① 人工芝と天然芝どちらを選択するか
- ② **ウッドデッキの設置**
- ③ 雑草対策

ウッドデッキの設置

実際の声



ウッドデッキの素材が設置してもらうまでわからなかった。

ウッドデッキの劣化が想像以上に早い。ウッドデッキは3年位で金属ネジ部の木が腐食しオマケに白アリが食い荒らし取り壊す羽目になった。

ウッドデッキが熱を持つので使いにくい。

アドバイザーからのコメント(対策方法)



ウッドデッキは素材選びが重要です。天然木は1~2年毎に塗装メンテナンスが必要なため、管理しきれず朽ちさせてしまう方が多いです。管理の手間をかけたくない方は人工木のデッキを選びましょう。

人工木デッキは管理は楽ですが**素材の性質上、熱くなるデメリットがあります。**ただし、熱くなりにくい商品もあるので価格だけでなく、機能面も含めて検討をしましょう。

■ 庭園連工事(ウッドデッキ含む)の失敗事例とその対策方法

最後に、雑草対策についての失敗事例とその対策を確認していきましょう。

失敗しやすいポイント

- ① 人工芝と天然芝どちらを選択するか
- ② ウッドデッキの設置
- ③ 雜草対策

雑草対策

実際の声



駐車場以外は砂利にしたが、道と砂利の境目で石が逃げてしまうから戻すのが大変だった。

雑草対策のために庭をコンクリートで固めたが、見るからに殺風景になった。

アドバイザーからのコメント(対策方法)



防草シートを敷いても雑草が生えてしまう原因は2つあります。

- 1: 雑草が防草シート自体を突き抜けてしまう
- 2: 防草シートの隙間から生えてしまう

突き抜けている場合は安価な織布タイプの防草シートを使用している可能性が高いです。シートは耐久年数が長い不織布タイプがおすすめです。業者だと不織布タイプを用いるのが一般的ですが、DIYだとホームセンターで安価な不織布タイプを選んでしまうケースがあるので注意しましょう。

防草シート+砂利でも表面に多少雑草は生えます。完全に防ぐことはできないということを事前に認識しておくことが良いでしょう。

■ 玄関前・アプローチ周辺の失敗事例とその対策方法

アプローチは門から玄関までの通路エリアのことです。まずは実際の声から失敗事例を確認していきましょう。

失敗しやすいポイント

- ① 門・カーポートから玄関までの道のりに不便さを感じる
- ② 建物の屋根とアプローチの位置関係
- ③ 玄関前の階段

導線の悪さ、屋根の位置など

実際の声



駐車場にポストを設置した。**動線を考えて設置したつもりだったが邪魔になってしまった。**ポストの位置を変えたら、更に1台止めるができるようになったが手間がかかった。

門柱の位置をあまり考えずにつけたことでアプローチ部が狭くなってしまった。
ポストをもっと玄関の近くにすればよかったです。

アプローチを石張りにしたが、色と風合いがイメージと違った。

道路から玄関迄の階段について、イメージと違った。

■ 玄関前・アプローチ周辺の失敗事例とその対策方法

続いて、その対策方法を確認しましょう。

失敗しやすいポイント

- ① 門・カーポートから玄関までの道のりに不便さを感じる
- ② 建物の屋根とアプローチの位置関係
- ③ 玄関前の階段

アドバイザーからのコメント(対策方法)



アプローチのポイントは下記の3つです。

スペースの確保: 狹いと毎日不便さを感じるので十分な広さを確保する

素材: 安全面を考慮し雨でも滑りにくい素材を選ぶ

色合い: 家の見栄えに関わるので妥協せずにメーカーサンプルをとって比較する

スペース確保のための具体的な寸法基準

- 一人で歩く 幅700mm
- 子供を連れて歩く、傘をさして歩く、松葉杖で歩く 幅1200mm
- 自転車を押す、車いすで移動 幅900mm

ポストや門柱の位置は、動線を妨げることもあるのでよく検討することが大事です。人、車、自転車の動線を全て書き出しておくと後々後悔も少なくなるでしょう。プロのエクステリアプランナーも設計の際には動線や視線を書き出して生活スタイルにも気を配るようにします。

■ フェンス・塀・生垣工事の失敗事例とその対策方法

フェンスや塀・生垣は土地の境界線を明確にする部分です。まずは実際の声から失敗事例を確認していきましょう。

失敗しやすいポイント

- ① フェンス：商品イメージと施工時のイメージが違う
- ② 生垣：剪定などのメンテナンスがかかる
- ③ 1次外構：塀やフェンスで区切りを付けなかった

失敗事例

実際の声



隣地との境界に塀を作らなかったら、思ったより開放的で防犯性が気になっている。

生垣のメンテナンスに手間がかかり大変。

生垣を自前で植えたが、成長時のイメージが出来ていなかったため見栄えが悪くなってしまった。

植栽のメンテナンスが意外と手間がかかる。

外から家の中が見えないようにフェンスをもっと工夫して設置すればよかった。

門扉をレールタイプのフェンスにしたが、落ち葉や土が溜まり、定期的な清掃が必要となった。跳ね上げ式などレールのないタイプにすればよかった。

■ フェンス・塀・生垣工事の失敗事例とその対策方法

続いて、その対策方法を確認しましょう。

失敗しやすいポイント

- ① フェンス：商品イメージと施工時のイメージが違う
- ② 生垣：剪定などのメンテナンスがかかる
- ③ 1次外構：塀やフェンスで区切りを付けなかった

アドバイザーからのコメント(対策方法)



境界線に塀やフェンスを設けることは**目隠し効果に加えて、近隣トラブルの防止も含めて重要な役割を果たします**。一度家が建つと重機が入れず工事費用が高額になってしまうので、新築時に優先して設置することをおすすめします。

目隠しフェンスの一般的に言われる必要高さは180～200cmですが、道路との高低差や角度などによっても変わります。そして高さと一緒に通風、採光、圧迫感なども考慮する必要があるため、**外構専門のCADソフトを導入している会社でシミュレーションしてもらうのが失敗しづらいでしょう**。

植物は管理の手間を考慮しておくことが重要です。手入れが苦手な場合は、生垣ではなく目隠しフェンスにしておいた方が良いでしょう。

■ 駐輪場の失敗事例とその対策方法

駐輪場は、スペースや雨の問題などがよく失敗事例として挙げられます。実際の声から失敗事例を対策方法をそれぞれ確認していきましょう。

失敗しやすいポイント

- ① 駐輪場の位置の利便性
- ② 風による雨の吹き込み

失敗事例

実際の声



自転車の出し入れが不便。

自転車置き場の位置が使いにくい。

駐輪場の取り付けについて、実際使い始めると風向きによって自転車がビショビショになってしまふ。**横風で濡れないかも気にするべきだった。**

アドバイザーからのコメント(対策方法)



自転車置き場も動線を検討してから位置を決める必要があります。**実際に図面に動線を書き込むとイメージがしやすい**かと思います。

スペースが狭くて駐輪しづらい場合は、**サイクルラックも導入**すると綺麗に収納が出来て出し入れがしやすくなります。

雨の吹き込みが気になる場合は、サイドパネルも付いた商品を選ぶことをおすすめします。また建物の壁が近くにある場合は、**ストックヤード**という屋根壁付きの商品も設置ができます。

サンルームの失敗事例とその対策方法

サンルームは、壁と屋根が透明な素材で覆われている部屋です。サンルームは設置費用が60～100万円かかるので、外構工事の中でも高額になりやすい傾向にあります。そして、**サンルームは屋根と壁があるので「家屋」として認識されるため固定資産税の対象になります。**実際の声から失敗事例を対策方法をそれぞれ確認していきましょう。

失敗しやすいポイント

- ① 気温の変化が激しく有効活用しにくいこともある
- ② 設置費用が高く、固定資産税もかかる

失敗事例

実際の声



冬、寒く入れない。夏は暑く入れない。そのため入れる時がほとんどなく、思ったより使いにくい。

サンルームに**冬季に観葉植物を避難させたが、低温のため枯れてしまった。**

経年劣化でガラスを抑えるコーナー枠が縮んで四隅に空白ができている。

アドバイザーからのコメント(対策方法)



サンルームは大きく分けると物干しメインのタイプとそこで人が寛ぐタイプと2種類あります。後者はガーデンルームという別名で呼ばれることもあります。**物干しメインのタイプだと窓や日よけの調整などができるないので、冬は寒く、夏は暑いのでそこで人が寛ぐのは現実的に難しいでしょう。**用途を明確にして導入を検討することが大切です。

■ 業者の施工ミスからの不満も多く寄せられました

業者選びだけで、金額や工事がうまくいくかどうかが変わるので、どんな外構デザインにするかだけでなく工事を丁寧に行ってくれる業者かどうかにも注目しましょう。

特に、外構工事を専門に行っている業者はハウスメーカーや工務店に支払う手数料がなくなるので費用が安くなる傾向にあります。

- その業者の得意工事は何か
- 地域に根付いた外構屋さんであるか
- 自分好みのデザインが提案できる業者か

いただいた不満

実際の声



カーポート縦2連棟を見積合わせの結果最安値業者に発注したところ、柱カットした柱に改めてアンカーボルトを通さないまま施行された、水平が取れてもおらず雨漏りする、垂直が取れていない、柱のメーカー指定埋め込み基準まで柱が地中に埋め込まれていない、駐車場周りをモルタルで汚されまくり落ちなくなってしまった。

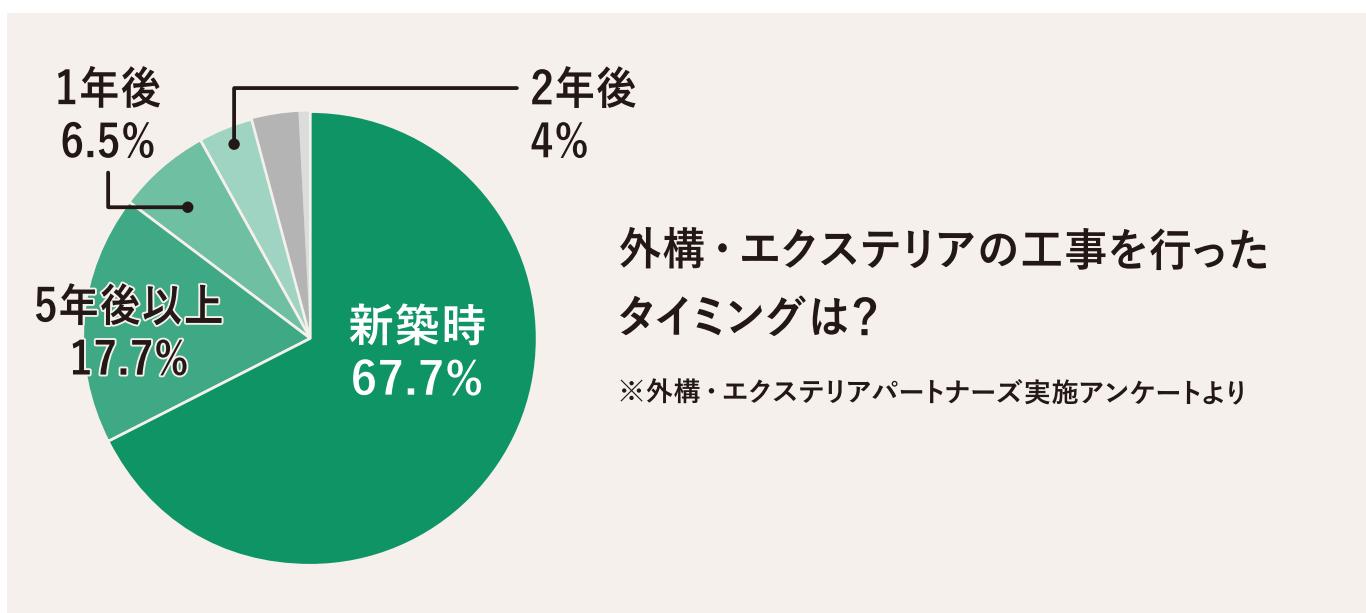
チェーンポストの施工不良（収納タイプと収納不可能なタイプ）の施工場所を間違えられたが改修しなかったので車の出入りが不便になった。

カーポート設置をハウスメーカーに頼んだら高かった。他も業者に見積もりするべきだった。

古いウッドデッキでは板の間から美しいノイバラが自生しており、それを残す為、事前にウッドデッキの一部に穴をあけ、自生しているノイバラを保存する旨を一番最初に伝えたが、ものの見事に伐採し、穴のあいたウッドデッキが残った。

■ 住み始めてからゆっくり検討するのも手

外構工事は必ずしも住宅完成に合わせて進めなくてはいけないものではありません。住み始めてからわかることがあるので、生活イメージができるから外構工事に着手していくという流れを取ることによって失敗のリスクを減らすことができます。



実際に、2年目以降に検討されている方も一定数いることがわかります。ただし、外構をやっていないとデメリットも存在するのも事実です。

デメリット

- 家の外観・見た目がよくない
- 土がむき出しになり、ぬかるみ・雑草・砂埃が発生する
- 防犯性が低い

詳しいデメリットについては弊社の記事を参考にしてみて下さい。

■ 企業選びの際に意識するべき3つのポイント

外構工事は失敗しやすい工事ではありますが、対策をして工事を行えば少なくとも重大なミスは防ぐことができます。特に下記の3つの点を意識して工事に取り組むようにすることをおすすめします



- 下調べを入念にする

- 生活イメージをしっかり持つておく
住んでから工事を検討する



- 工事を丁寧に行ってくれる業者を選定する

実績のある外構工事専門店を探す方法

自分で評判のいい会社を探したり、相見積もりをするのはとても大変ですよね。

特に外構業界は色々な出身母体を持つ業者が参入しており得意工事がバラバラです。工事のみを行っており、設計ソフトを導入していない会社も多いです。

また複数社と日程調整をするのも手間がかかります。

そこで、「外構・エクステリアパートナーズ」の利用がおすすめです。外構・エクステリアパートナーズでは、地元のエクステリア専門業者を無料で探すことができ、最大3社まで相見積もりすることができます。実際に1ヶ月に200名以上の方が、外構工事についての相談や地域の業者を探すために登録しています。

外構工事は人生で何回もする工事ではありませんので、あなたの素晴らしい新生活がスタートできるようエクステリアの観点から徹底サポートします。



完全無料! おすすめ業者の比較見積り

地元で評判の外構業者が見つかる

建築士が運営する
外構・エクステリア専門
見積もりサイト

NHK フジテレビ出演
アドバイザーが在籍

豊富な知識で、あなたのエクステリア選びをサポートいたします。
我々には是非お任せください!

お客様の声



施工地域

長野県松本市

施工場所

新築外構一式

- ・駐車スペース(カーポートなど)
- ・庭(人工芝)
- ・ウッドデッキなど

お客様の声

デザインがイメージ通りでした。外構工事をすることで、建物全体の見た目がよくなつたのでよかったです。



施工地域

宮城県登米市

施工場所

- ・玄関アプローチ(シンボルツリー等)
- ・庭

お客様の声

デザインがイメージ通りでした。外構工事をすることで、建物全体の見た目がよくなつたのでよかったです。

おわりに

「外構・エクステリアパートナーズ」は完全無料。地元の専門店で見積もりやデザイン案がわかる上に、日程調整や工事店への契約のお断り代行も行います。良くしてもらったのに、断りの連絡をいれないといけないのってなんだか申し訳ないですもんね。現在、ハウスメーカーからお見積もりをもらっているという方も大歓迎です。

まずは「<https://www.gaikouexterior-partners.jp/>」よりお問い合わせをお持ちしております。

お急ぎの方はこちら：050-1790-2266 ※無料でお電話いただけます

■ 外構・エクステリアパートナーズ3つのメリット

メリット1

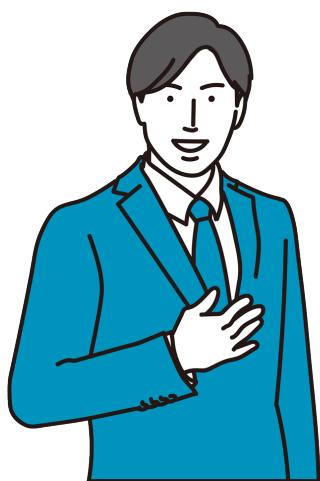
マージンを省いて
低価格を実現！

メリット2

自社サイトを持たない
優良業者にも
出会える！

メリット3

同時に複数社の
見積もりを取れる！



その他、よくある質問やご利用の流れなど弊社ホームページにて詳しく解説しています。是非ご活用ください！

また、太陽光・蓄電池のご相談も可能です。全て完全無料でご利用いただけますので、お気軽にご相談下さい！

外構・エクステリアパートナーズ一同